

甲南大学法科大学院入学試験問題について

－ 2017年度一般入学試験（後期募集・2月19日分）－

試験科目：商法

1. 出題趣旨

募集株式の引受人が出資の履行を仮装した場合に、当該引受人および当該引受人が出資の履行を仮装することに関与した取締役が会社に対してどのような責任を負うこととなるのかについて、また、当該責任が履行されていない場合に、当該引受人が株主の権利を行使することができるのかについて、会社法上の規律の基本的な理解を問う問題である。

2. 採点実感

本件募集株式の引受人が出資の履行を仮装した場合にあたるのかについては、大半の答案が論じられていた。しかし、当該引受人および当該引受人が出資の履行を仮装することに関与した取締役が会社に対して責任を負う法的根拠については、正確に指摘できていない答案も見られた。また、当該責任が履行されていない場合に、当該株式引受人が株主の権利を行使することができるのかについては、大半の答案が正確に論じられていなかった。

3. 学習方法

会社法についての基本的知識を正確に理解し、的確に使いこなすことができるようになるために、条文、基本書および判例集を読み込むとともに、短答式問題および簡単な論文式（事例）問題を解くという作業を地道に続けて下さい。

以上